

## 短期交換留学生生活アンケート調査報告

大河原 尚

【キーワード】 予備調査、交換留学、大学での勉強、日本の生活、感想

### 1. はじめに

大東文化大学(以下、本学)では、海外の教育機関との交換協定に基づく、短期(ほとんどが一年間)交換留学生を、毎年十~二十数名受け入れている。特にここ数年は、その数が増加してきている。しかし、そうした留学生が「日本」という異文化の中でどんな生活をし、どんな困難に悩んでいるのか、われわれ受け入れる側には意外にわかりにくいものである。

そこで、1998年度より本学に在籍した短期交換留学生に対し、その帰国時に自身の留学生生活を振り返ってもらうアンケート調査を行っている。これまでこのアンケート調査によって蓄積された情報は、いずれ整理・分析され彼らの受け入れ体制の充実に役立てられることだろう。しかし、その膨大な資料の整理に先立って、本稿では、初年度(1998年度)に在籍していた18名の短期交換留学生に対して実施した予備調査の結果から注目すべき点について、いくつかをここに報告する。

### 2. 方法

実施したアンケート調査は、予備調査として短期交換留学生からできるだけ多くの情報を得ることを目的としていたため、各質問には選択肢を設けず自由記述方式で回答してもらった。

質問項目(資料1参照)は、次の五つの分野について回答を求めた。

1. 回答者に関する情報
2. 交換留学について
3. 大東文化大学での勉強について
4. 日本での生活について
5. 留学全般についての感想

### 3. 結果

#### 3.1. 「今回の留学生生活でどんなことを学んだか。」

目立って多いのは「日本語の上達」と「日本(社会、文化、歴史など)や日本人(日常生活の様子、考え方、人間関係)について知ることができた」。特に後者については、「どんなところに気を使うか」とか「振る舞い方」と書いた回答もあった。

次に多いのは、「友人ができた」で、4名が回答した。これは、日本人の友人だけと言うよりも、自国やそれ以外の国からの留学生との出会いに言及する回答が多かった。「国は違っても、共通点が多いことを知った」と言う回答もあった。

その他の回答には、日本と言うよりも、「自国に対する理解ができた」とするもの、外国での一人暮らしで、「人間として自立した」と回答するものもあった。日本での留学生生活は単に日本や日本人に対する理解と言うだけでなく、自分自身の再発見の機会ともなっていることがわかる。

### 3.2. 「留学前に、日本での勉強に何を期待したか。」

やはり最も多いのは、「日本語の勉強」である。その具体的内容については、「会話」（日本人のように話せるようになること）、「丁寧な」表現、「漢字」、「新聞が読めるようになる」など、留学生によって比較的はっきりとした目標を持っているものもあれば、漠然とした目的意識しかないものもいた。また、その方法としても、「自国で勉強していたのと同じ教科書、方法」でとするものもあれば、「日本語の環境」を期待する回答もあった。

それ以外で多かったのは、「現代の日本について」「日本人の考え方や、生活、(文化)」について知りたいと言うもの。また、「毎日日本で生活する」という経験そのものを期待している回答もあった。

また、大学院で勉強した留学生の中には、自分の専門分野についての日本における事情を知りたかったとする回答もあった。

### 3.3. 「日本語の勉強で大変だったことは。」

日本語によるコミュニケーション上の問題が最も多かった。「日本語で自分の気持ちが表現できない」「道に迷ったときなど、ちゃんとコミュニケーションができなかった」など。また、「日本語で書いてある郵便物（電気料金の請求書や領収書など）を読むこと」と言ったような、日常生活に即した日本語で苦労しているようである。逆にいうと、教室での日本語の勉強が十分に日常生活で生かされていないとも言えるのではないか。

その他では、「漢字」「日本語の発音」「文法」を挙げた留学生がいた。漢字については、日常生活の中で頻繁に接する日本語の一つで、形が目で見えてわかるという点で、その意味がわからないと言うことを認識しやすい日本語の要素の一つと言えるだろう。

### 3.4. 「日本語の授業以外で、どんな時日本語を使ったか。」

やはり最も多いのは、店員や駅員などの日常生活でいつも接する日本人との日本語使用である。日本人の学生との会話もこの中に入る。回答の中には「パーティーで」「いっしょに遊んだ」「(大学の) プールで」とあるが、どのくらいの頻度で、どんなことを話しているのか、その親しさはどうかなど、具体的なところまでは、今回の調査ではわからない。また、「ほんの少し」とだけ書いた留学生もあった。ただ、留学生によって交友関係は異なるものの、全体の傾向としては、意外と孤立しているのではないかという印象である。後述の質問9「最も辛かったこと、大変だったこと」には、「日本人からの孤独感」という回答があった。

### 3.5. 「日本語がわからなくて、どんなことに困ったか。」

これは大きく二つに分けられる。一つは、留学生本人の日本語力の問題。もう一つは、留学生と話をする日本人の対応の問題である。前者では、道に迷ってしまい「遅れてしまった」時、「ゴミの日がわからなかった」時、「電気やガスの料金について」電話で問い合わせる時など、うまく日本語で表現できない。買い物や電話で「言いたいことがうまく言えない」、「文化の違いによる行動が、相手（指導教官など）に失礼になった時」。また、「日本人に質問された時」とっさにどう反応してよいのかわからない。

後者では、日本人は「物事を簡単に説明しすぎる」「大家さんが自分の日本語が分からなかった」。これは、見方を変えれば、本人の日本語理解力や表現力の問題と考えることもできるのだが、少なくとも留学生に対応する日本人側にも問題があるということであろう。こうしたことの背後には、日本人が考える留学生の問題と、実際に留学生が感じている問題との間にギャップがあることが考えられる。

### 3.6. 「どのようにして友だち（日本人、留学生）をつくったか。」

人数の差はあれ、回答した全員がこの一年間に日本人または留学生の友人ができたと答えている。その方法として最も多かったのは、特に出会いを求めるといったような目的のない普段の生活の中で知り合った、とする回答である。例えば、「一人でキャンパスを歩いて」「アルバイトで」「大学や居酒屋で」。全回答の半数以上が、ここに分類できる。

次いで多かったのは「本学を含めた第三者の企画した活動に参加した」である。これには上の「生活の中で」とほぼ同数の回答があった。具体的には「夏休みのキャンプ」や「パーティー」など。

その他では、「友達からの紹介」「定期的な活動（クラブ、水泳クラスなど）への参加」「授業を通じて」、また少数だが、「旅行で、ユーホステルに宿泊して」といったものもあった。

回答者の中には、友人を作る機会はそれなりにあっても「よい友人はとても少ない」とコメントしたものもあった。確かに、友人が何人できたかで充実した交流ができたとするのは多少短絡すぎる考え方であろう。たとえ少数であっても、長く付き合っていける友人に出会えれば、それは、留学生にとっても、受け入れた大学にとっても大きな成果と言えるはずである。

### 3.7. 「今回の留学は将来どんなことに役に立つと思うか。」

将来日本あるいは日本語に関係した仕事を希望する回答が最も多かった。そのために、語学力はもちろん日本の文化や社会についての理解が深まったとしている。その他には、「将来の研究に役立つ（専門分野の日本語も含めて）」「日本語の進歩」に関する回答が目立ったが、質問1「今回の留学で学んだこと」と重複する回答が多かった。

プラスの評価ばかりでなく「あまり会話が上達しなかった」と答えた留学生もいた。詳しいコメントは得られなかったが、マイナスの評価も今後の改善のためには貴重である。

### 3.8. 「今回の留学生生活で最もうれしかったことは。」

圧倒的に多かったのは、「いろいろな人（日本人、留学生）に出会えたこと」で、ほとんどの留学生が回答している。さまざまな行事や活動を通じていろいろな人と交流がもてた、としている。また、「多くの人から支えてくれたこと」とした回答もあり、そうした出会いが、単に日本人学生や留学生にとどまらず、このプログラムに関わるスタッフの方々との交流にも広がりを見せている。

その他では、「日本について知ることができた」「日本語が上達した」。また、「きれいな景色」、「時間的にもリラックスできた」とする回答もあった。

### 3.9. 「今回の留学生生活で最も辛かった、大変だったことは。」

回答者の半数近くが「クリスマスが寂しかった」などのように、クリスマスとかお正月のようなときに国の家族や友人に会えなかったことを挙げている。

他には、「電車や現金引き出し機が使えない」「物価が高い」「食べ物」など、文化的社会的事情の違いから来る不便さ、日本語ができないことによる不便さ（「他の人と話が通じなかった時」「日本語ができなくて何も自分でできないこと」など）を挙げた回答もあった。また、「いたずら電話」「電車で体を触られた」といった被害を訴えるものもあった。

### 3.10. 「次に来る交換留学生へのアドバイスは。」

最も多かった回答は、せっかくの日本留学の機会なので、大変なことがあっても、いろいろなことに、積極的にチャレンジしてほしい、というものである。次いで多かったのが、勉強（日本語を含めて）をして、いろいろなことを身に付けてほしい、とするものである。その他にも、時間を大切にして「目標を決めて留学生生活を有意義」なものにしてほしいといったものもあった。これらの三つが全回答のほとんどを占めている。留学生が、一年間といった短い期間でも、日本での短期留学を貴重な機会として考えていることがわかる。

他の回答は、留学に際しての準備に関するものである。

### 3.11. 「最後に一言。」

全般的には肯定的なコメント（「面白かった」「いい経験になった」など）が多いが、短期交換留学プログラムや本学に対する要望もみられた。

## 4. 最後に

これまで、こうした実態調査は全く行われてこなかった。しかし、今回の調査では、予備調査ということもあって、対象となった留学生の数も少なく、質問も設定に多少重複があるなど十全に吟味されたものとは言えなかった。そのためここでの結果が、本学での短期交換留学生受け入れの実態を全体的に把握しているとは言えない。しかし、ここで重要なことは、これまで積み重ねて来た調査結果を整理・分析し、短期交換留学生受け入れの体制の改善に役立てていくとともに、今後もこうした調査を続け、常時変化

し続ける実態を的確に把握し、その変化に合わせた適切な対応が講じられるような仕組みを構築していくことであろう。最後に質問項目の一覧と回答の集計結果を付しておく。ここで得られたデータが、関係者およびその他の留学生に関心をお持ちの方々の参考に少しでも資することができれば幸いである。

【資料1】

「短期交換留学生の学生生活に関する調査」質問項目

I. まずあなたご自身のことについてうかがいます。

- (1) お名前、学籍番号
- (2) 国籍
- (3) 回答日
- (4) 年齢
- (5) 性別
- (6) 大東文化大学で所属している学部、学科
- (7) あなたの国の大学
- (8) 日本へ来る前に日本語を勉強したことがありますか。  
期間  
機関又はコース
- (9) 今回の留学の前に日本へ来たことがありますか。  
何回 (回数)  
述べ期間  
目的

II. 交換留学について

- (1) 交換留学生として日本へ来ることは、あなたにとってどんなメリットがありますか。  
(留学前に考えていたこと)
- (2) なぜ日本を留学先として選びましたか。
- (3) なぜ大東文化大学を留学先として選びましたか。
- (4) 今回の留学生活に満足していますか。  
とても不満-----とても満足
- (5) 今回の留学でどんなことを学んだと思いますか。

III. 大東文化大学での勉強について

- (1) 日本へ来る前に、日本での勉強に何を期待していましたか。  
(どんな勉強がしたかったですか。)
- (2) 日本語の勉強について
  - a. 満足していますか。  
とても不満-----とても満足
  - b. 日本語を勉強する上で困ったことや大変だったことがありますか。  
ある場合、それはどんなことですか。
  - c. 日本語の授業に満足していますか。  
とても不満-----とても満足

- d. 授業はあなたのレベルに合っていましたか。
- e. 授業の内容は、あなたの日本語の勉強に役に立ちましたか。
  - ・どんなことが役に立ちましたか。
  - ・どんなことが役に立ちませんでしたか。
- f. 日本語の授業で、もっと教えてほしかったことがありますか。
  - ・どんなことですか。

(3) 日本の文化や社会の勉強について

- ・英語での講義があったほうがよかったですか。
- ・どんな内容の講義を英語でしてほしかったですか。

IV. 日本での生活について

(1) 日本語の授業以外で、日本語を使うことがありますか。

- ・どんなとき
- ・だれと
- ・どんな日本語

(2) 日本での生活で、日本語がわからなくて、困ったことがありましたか。

- ・どんなことで困りましたか。
- ・それはいつごろですか。
- ・そのときどうしましたか。

(3) 住居について

- ・満足していますか。  
とても不満————とても満足
- ・住居で困ったことや改善してほしいことがありますか。  
ある場合、それはどんなことですか。

(4) 日本での生活費について

- a. AIEJの奨学金で生活費は足りましたか。
- b. 足りない生活費はどうしましたか。
  - ・アルバイトをした
  - ・本国からの送金
  - ・その他の援助

(5) また日本へ来たいですか。

- ・日本でどんなことをしたいですか。

(6) 友達はできましたか。

- ・何人ぐらいできましたか。
- ・どのようにして友達をつくりましたか。

V. 最後に

(1) 今回の日本への留学は、あなたの将来にとって役に立ったと思いますか。

- ・どんな点で

- (2) 留学生生活で最も楽しかった（嬉しかった）ことは、どのような事ですか。
- (3) 留学生生活で最も辛かった（寂しかった）ことは、どのような事ですか。
- (4) これから、あなたのように日本へ、大東文化大学へ来る短期交換留学生に、日本での生活や大学での勉強（日本語も含む）について何かアドバイスしたいことがありますか。
- (5) 最後にあなたの日本での留学生生活について、何かご意見があったら書いてください。



【資料2】

短期交換留学生生活アンケート集計結果

\* ( ) 内の数字は回答数

・留学生生活に満足しているか

- 1 (とても不満) (0)
- ・ (0)
- 2 (1)
- ・ (3)
- 3 (0)
- ・ (0)
- 4 (9)
- ・ (1)
- 5 (とても満足) (4)

・留学で学んだこと

- ・ 友人ができた (いろいろな人に会うことができた)  
(国は違っても共通点が多いことを知った) (4)
- ・ 日本について知ることができた (日本の社会、日本人、文化、歴史など) (10)
  - ・ 日本人の日常生活 (1)
- ・ 日本語が上達した (12)
  - ・ 聞く力 (1)
- ・ 自分の国に対する理解ができた (1)
- ・ 一人で暮らして自立した (1)
- ・ 人生経験として多くのことを学んだ (1)
- ・ (日本人に考え方や人間関係)
  - ・ 日本人の人間関係 (2)
  - ・ 日本人はどんなところに気を使うか (1)
  - ・ 日本人の考え方や振る舞い (1)
- ・ 自分の専門分野の日本での事情 (1)

・日本での勉強に何を期待したか

- ・ 日本語の勉強 (日本語の環境で) (2)
  - ・ 日本語の授業 (1)
    - ・ 自国と同じ方法、教科書で (2)
  - ・ 日本人のように話せるようになったかった (文法ではなく) (2)
  - ・ 日本語の文法、漢字 (1)
  - ・ 日本語の会話 (1)
  - ・ 丁寧な日本語 (1)
  - ・ 新聞が読めるようになったかった (1)

- ・漢字 (1)
- ・日本語 (2)
- ・日本語がわかるようになる (4)
- ・日本語以外の授業への参加 (1)
  - ・中国語 (1)
- ・日本人と同じ様に (留学生であることを意識せずに) (1)
- ・専門の勉強 (1)
  - ・専門の日本での事情 (1)
- ・日本人の考え方、生活 (文化) (3)
  - ・日本の文化にいついってもっと知りたかった (2)
  - ・現代の日本について (2)
  - ・英語での授業 (1)
- ・毎日日本語で生活すること (1)
  
- ・日本語の勉強に満足しているか

1 (とても不満)	(0)
・	(0)
2	(2)
・	(0)
3	(1)
・	(0)
4	(9)
・	(1)
5 (とても満足)	(5)
  
- ・日本語の勉強で大変だったことは
  - ・日本語能力試験の勉強が難しかった (1)
  - ・漢字がわからなかった (2)
  - ・文法、特に意味の似ている言葉 (1)
  - ・日本語の発音 (1)
  - ・ちゃんとコミュニケーションができなかった (道に迷った時など) (1)
    - ・日本語で自分の気持ちが表現できなかった (2)
    - ・会話がまだよくできない (1)
  - ・日本語で書いてある郵便物 (請求書、領収書など) を読むこと (1)
  
- ・日本語の授業以外で、日本語を使うことがあったか
  - ・英語がわからない留学生と話す時 (1)
  - ・毎日の生活で (2)
    - ・外出している時全て (2)

- ・買い物、パーティー、旅行で友達や日本人と話す時 (1)
  - ・日本人 (友達、学生)、買い物、道を聞く、アルバイト (1)
  - ・アルバイト、デート、見学 (1)
  - ・いつも (買い物やプールで) (1)
  - ・アルバイト以外で (1)
  - ・英語教師のアルバイトで (子供の親と) (2)
  - ・日本人と話す時 (3)
  - ・買い物、レストランなどで (1)
  - ・買い物や電車に乗る時 (1)
  - ・日本人の友人と大学で (1)
  - ・日本人の友人と遊んだり、旅行したりした時 (1)
  - ・ほんの少し (1)
- ・ 日本語がわからなくて困ったことがありましたか
- ・ 日本へ来たばかりの時 (2)
    - ・ ごみの日がわからなかった (1)
    - ・ 成田空港についた時 (1)
  - ・ 行きたい場所が見つられず遅れてしまった (1)
  - ・ 言いたいことがうまく言えない (電話、買い物などで) (1)
  - ・ 他の人に頼んだり、何か言いたい時 (1)
  - ・ 日本人に質問された時 (1)
  - ・ 文化の違いによる行動が、相手に失礼にならなった時 (1)
    - ・ 指導教官に初めて連絡する時 (敬語の使い分け) (1)
  - ・ 大切な電話 (警察、NTTなどから) (1)
    - ・ 電気やガスの料金についてその会社に電話する時 (1)
  - ・ 日本人は、物事を簡単に説明しすぎる (1)
  - ・ 大家さんが自分の日本語がわからなかった (1)
  - ・ けんかをした時 (1)
  - ・ 誤解 (1)
  - ・ 日本語がわからない時恥ずかしかった (店や学校で) (1)
- ・ 友達ができたか
- はい : (17)、いいえ : (0)
- ・ 何人ぐらい
- 日本人 : 3人(1)、6人(1)、10人(2)、15人(1)、20人(1)、40人(2)、50人(2)、100人(1)、たくさん(1)、少し(1)
- 留学生 : 6人(1)、10人(1)、20人(5)、30人(1)、40人(2)、50人(1)、たくさん(1)

・ どのようにして友達をつくったか

- ・ (生活の中で)
  - ・ 一人でキャンパスを歩いた (2)
  - ・ 教会で (1)
  - ・ 授業で話しかけた (1)
  - ・ 学校で (1)
  - ・ 生活の中で (2)
  - ・ 大学や居酒屋で (1)
  - ・ アルバイト (2)
- ・ (企画への参加)
  - ・ 大東生の集まる機会に出席した (1)
  - ・ 英語教師として、サマーキャンプに参加した (1)
  - ・ 大学などの機関が行った活動に参加した (2)
  - ・ 様々な活動に参加した (1)
  - ・ パーティー (2)
- ・ 友達の紹介 (4)
- ・ 旅行 (1)
  - ・ 旅行で、ユースホステルに泊まった (1)
- ・ (授業で)
  - ・ クラス (日本語) (1)
  - ・ 英語を教えた (1)
  - ・ 中国語の授業に参加した (1)
  - ・ 勉強の上で (1)
- ・ (定期的な活動で)
  - ・ スポーツ (1)
  - ・ クラブに入る (1)
  - ・ プールにいった (クラスに参加して、会話をした) (1)
  - ・ 大東大の夏休みのキャンプ (1)
  - ・ 英語クラブに参加して (1)
- ・ でもよい友達はとても少ない (1)

・ 留学は将来に役立つか

- ・ 英語の先生になるチャンスがある (日本で) (1)
- ・ 将来の希望 (日本語教師、日本で働く) のために  
(日本の文化や言葉を教える上で) よい経験になった (3)
- ・ 将来の仕事や結婚で (1)
- ・ 日本語に関係した仕事につきたい (4)
- ・ 教会がある (日本に) (1)

- ・自分の国がよくわかった(1)
  - ・日本に対する見方が変わった(1)
  - ・専門の研究のために(2)
    - ・専門分野の日本語(2)
    - ・自分の研究を進める上で役に立つ(2)
  - ・日本語の知識、能力(2)
    - ・日本語が上達した(3)
    - ・会話を学んだ(1)
    - ・日本語の勉強が自分でできるようになった(1)
  - ・異文化の経験(1)
    - ・違った文化や考え方に触れられた(3)
  - ・人間として粘り強くなった、集中力がついた(1)
  - ・あまり日本語が上達しなかった(1)
- ・最も嬉しかったこと
- ・いろいろな人(留学生、日本人)に出会えた(12)
    - ・活動がよく準備されていて、他の人とコミュニケーションできた(1)
    - ・行事(文化活動)に参加できた(1)
  - ・多くの人が支えてくれたこと(1)
  - ・日本語がわかるようになった(1)
    - ・日本語が上達した(1)
    - ・基礎的な会話ができるようになった(1)
  - ・日本について知ることができた(1)
    - ・本当の日本を知ることができた(1)
    - ・日本の(食)文化(1)
  - ・日本の生活に慣れた(1)
  - ・留学の目的を達成できた(1)
  - ・時間的にリラックスできた(1)
  - ・きれいな景色(1)
- ・最も辛かったこと、大変だったこと
- ・クリスマスがさみしかった(7)
    - ・オーストラリアの家族や友達に会いたかった(1)
  - ・(日本語ができないことによるもの)
    - ・日本語ができなくて何も自分でできないこと(1)
    - ・他の人と話が通じなかった時(1)
    - ・「交流パーティー」の時話し相手がいなかった(1)
    - ・日本人からの孤独感(1)

- ・(社会的、文化的事情の差異によるもの)
  - ・たばこを吸う人が多い(1)
  - ・いたずら電話(1)
  - ・電車で身体を触られたこと(1)
  - ・インターネットを使いたかった(1)
  - ・電車や現金引出機が使えない(1)
  - ・食べ物(1)
  - ・物価が高い(1)
  - ・文化がわからなくて失礼したこと(1)
- ・文化の違いがなかなか見つからなかったこと(1)
- ・オーストラリアへ帰らなければならないこと(1)
- ・福岡へ行って多くの友人と別れた時(1)
- ・自分で晩ご飯をつくらなければならないこと(何でも自分でしなければならない)(1)
- ・一度にたくさんのことを勉強したこと(1)

・次に来る学生へのアドバイス

- ・いろいろな経験に挑戦してください(3)
  - ・わからないことがあったらすぐだれかに聞く(1)
  - ・あきらめないでください(2)
  - ・たのしんでください(1)
  - ・遊ばないで勉強(いろいろな経験)してください(1)
  - ・いろいろな活動に参加すること(1)
  - ・家族や友人と離れて暮らすのは辛いけどがんばってください  
(日本語や自分自身のために勉強になる)(1)
  - ・日本人と一緒に活動に積極的に参加すること(1)
  - ・日本語を使ってください(1)
- ・勉強する(1)
  - ・将来のためにいろいろなこと(重要なこと)を身に付ける(1)
  - ・日本語を一生懸命勉強してください(2)
  - ・よく遊び、よく勉強する(1)
  - ・日本の全てを学んで(考え方、文化など)自分のものにしてください(1)
- ・異文化の生活に寛容になること(1)
- ・留学生生活は自分次第、目標を決めて生活を有意義に(1)
  - ・いろいろな科目をとってください、日本の大学は学期が短い(1)
  - ・時間を大切に(1)
- ・来日前に日本語の勉強をして話せるようになっておくこと(1)
  - ・少しでも日本語が話せたほうがよい(1)

- ・教科書を持って来なくてもよい(1)
- ・大東はきれいな大学でスタッフもよい(1)

・最後に一言

- ・おもしろかった(1)
- ・勉強の面でも、人間としても多くのことを学んだ(1)
- ・いい経験になった(1)
- ・まるまる一年間滞在させて欲しい(早く帰りたくないの) (1)
  - ・旅行する時間が足りなかった(もっと自由時間が欲しい) (1)
- ・交流センターで、もっと多くの活動をして欲しい(1)
- ・専門の教授につきたかった(教育学) (1)
- ・大学(大東文化大学)からの評価が欲しい(日本語、他の成績) (1)
- ・大学(大東文化大学)から一年間の留学の証明書を出して欲しい(1)